

「しなのきプラン29」

～長野市の子どもたちの「知・徳・体」をバランスよく伸ばしていくために～



目指す人間像

グローバルな視野を持ちながら、ローカルにたくましく生きる自立した18歳

少子・人口減少社会、グローバル社会、高度情報化社会等の激動の時代を、子どもたちが生き抜くための確かな力を育むために、子どもの育ちや学びの連続性に着目し、一貫した教育体系を構築する必要があります。平成27年4月、長野市教育委員会では、「教育振興基本計画」に基づいて、「しなのきプラン29」を策定しました。子どもに関わるすべての大人は、社会への出口である18歳の目指すべき姿を共有し、責任を果たしていくことが大切です。本年度から、第2次教育振興基本計画に沿った取組が実施となります。引き続き、関係する皆様に本プランの内容をご理解いただき、学校、家庭、地域、事業所などと市教育委員会が心をひとつにして、プランの推進にあたりたいと願います。

しなのきプランの特徴

長野市の学力観を定義し、プランを検証・改善しています。

○ 長野市の学力の定義
A学力、B学力のみならず、子どもたちの「意欲・態度」のC学力についても客観的な数値で表すことによって、市教育委員会や学校の取組の検証改善に活かすことができると考え、長野市独自の学力観を下のとおり定義しました。

知識・技能⇒A学力 活用する力、思考力・判断力・表現力⇒B学力

意欲・態度⇒C学力：長野市が大切にしたい資質・能力

未来力⇒将来の夢や目標と見通しを持ち、努力を継続できる力

自律力⇒規範意識を持ち、自己をコントロールする力

絆力⇒他者を尊重し、積極的に人間関係を築こうとする力

実践力⇒獲得した知識・技能及び思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し行動する力

○ 課題と目標

全国学力・学習状況調査結果を学力分布やその経年変化に着目して分析し、平成29年度末の検証に向け、以下の目標を設定しました。

学年	全国学力・学習状況調査における課題	目標
A	(中学生) 正答率40%以下の生徒の割合	⇒ 全国比100を下回る
B	(中学生)「活用力」(B問題)	⇒ 全国比100を上回る
C	(小中学生)「実践力」	⇒ 全国比100を上回る



①A学力を基盤にして、B学力を高め、C学力を向上させること
②C学力に働きかけ、B学力を発揮する場を提供することにより、A学力を高めること
①②の両アプローチによって、若木をたくましい大木に育てます。

時間をかけて、子どもたちが
生き抜くための確かな力を育みます

○今年度から、「第2次教育振興基本計画」(H29～H33)となります。
○「乳幼児期の教育・保育の指針」(H29～H33)との連続性、一貫性を大切にします。

平成27年度に小学校へ入学した子どもが、平成35年度中学校卒業時に大きな成果を得ていることを目指します。

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35
長野市教育振興基本計画(5カ年計画)	⇒第1次		第2次			第3次 ⇒			
しなのきプラン(3ヶ年×3期計画)	プラン29(第1期)			プラン32(第2期)			プラン35(第3期)		

学校の5つの取組

- 1 基礎基本の定着
 - 2 授業規律・学習規律の確立
 - 3 授業とつながる家庭学習の充実
 - 4 各種調査の活用
 - 5 同僚性の向上
- ◎【しなのき授業スタンダード】の普及

家庭の7つの取組

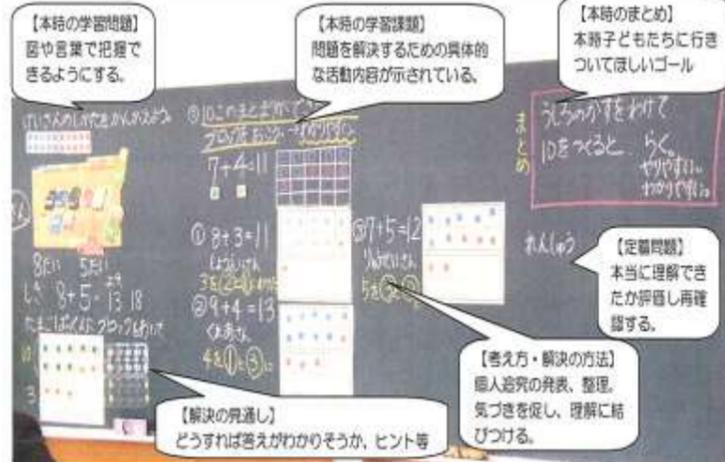
以下に掲げる7つの項目と全国学力・学習状況調査の正答率には相関関係があります。

- 1 毎日、朝食を家で食べさせましょう
- 2 規則正しい生活をさせましょう
- 3 ゲームや携帯電話、スマホの時間のルールを決めましょう
- 4 学校での出来事について、話を聞きましょう
- 5 できるだけ、授業参観や運動会などの行事に行きましょう
- 6 ニュースに関心を持たせましょう
- 7 よいところをたくさん見つけ、どんどんほめましょう

長野市では、標準学力検査(NRT)の結果を活かした指導改善に、各学校で取り組んでいます。市内の小学校では、検査結果の分析を持ち寄り、子どもたちが自ら取り組む授業づくりや、授業がより充実するための教材研究などを行う研修会を継続的に実施しています。



「しなのき授業スタンダード」の普及に努め、
日々の授業改善を進めています。



1時間の授業を振り返ることができる板書

教育委員会の取組 29

取組の視点	番号	プラン名
1 学びの質や 広がり の保障 重点Ⅲ	1	グローバルな視野の育成
	2	「地域を知り、地域に根ざした学習」の充実による地域貢献力の育成
	3	キャリア発達を促す基礎的・汎用的能力の育成
	4	豊かな体験活動等による創造力や感性の醸成
	5	健康・体力の保持・向上
	6	リテラシーの向上
2 学びをつなぐ 学校種間の連携 (幼保小中高) 重点Ⅰ	7	幼保小の連携推進
	8	小中連携・一貫教育の推進
	9	中高一貫教育の推進
	10	キャリア教育を主軸とした小中高一貫教育カリキュラムの開発
3 学びの基盤整備 (安全・安心な 教育環境) 重点Ⅱ	11	いじめのない安心な学校づくり
	12	不登校の未然防止と不登校児童生徒へのきめ細かな支援
	13	障害のある児童生徒への支援
	14	社会的援助を必要とする児童生徒への支援
	15	教育相談体制の充実
	16	災害に強い学校環境の整備と交通安全・防犯教育の推進
	17	外国人児童生徒への日本語・生活指導の充実
4 学びを支える 家庭・地域との 連携 重点Ⅱ	18	特色ある開かれた学校づくりへの支援
	19	家庭との連携による基本的な生活習慣の確立
	20	少子・人口減少社会に向けた活力ある学校づくり
	21	家庭や地域におけるコミュニケーションの充実
	22	学校、家庭、地域を繋ぐ情報の発信と共有
5 学びを導く 教員の力量向上 重点Ⅲ	23	子どもと向き合う時間の確保・充実を図るための業務改善
	24	授業改善のための各種調査の活用
	25	授業改善のためのしなのき授業スタンダードの普及
	26	各校の授業研究組織力の向上
	27	教員の授業力の向上
	28	授業改善のための情報発信と支援
	29	「各学校の取組5」への支援

「しなのきプラン29」は、長野市教育委員会事務局 学校教育課のホームページに掲載してあります。
(長野市ホームページ⇒教育委員会⇒学校教育課⇒「しなのきプラン29」)

ご意見・ご感想をお寄せください。

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
TEL 026-224-5081 FAX 026-224-5086

メール gakukyou@city.nagano.lg.jp
長野市教育委員会事務局 学校教育課

○ 児童生徒質問紙調査より【C 学力】 (全国=100)

※質問紙の回答を数値で表しました。() 内は平成 27 年度の結果

	小学校	中学校	主な質問項目
未来力	106.4 (107.1)	102.8 (104.2)	将来の夢を持っていますか。 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
自律力	100.1 (100.1)	99.6 (100.5)	学校のきまりを守っていますか。 家で、学校の宿題をしていますか。
絆力	99.5 (100.8)	94.0 (99.9)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。
実践力	98.7 (96.2)	91.4 (94.9)	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

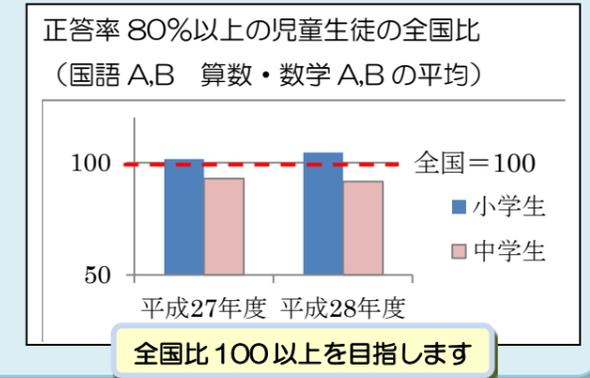
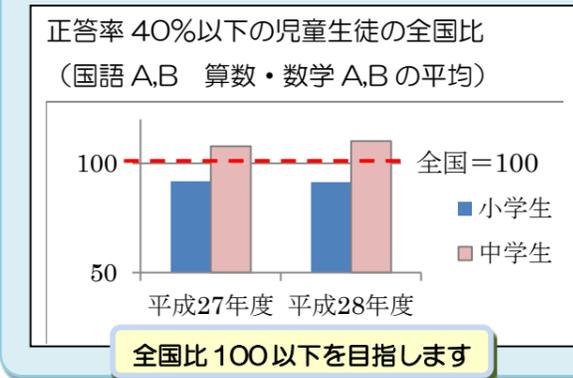
長野市の児童生徒のよさと課題

【A・B 学力について】
○小学生は、A・B 学力とも良好な結果となりました。
△中学生は、基礎的な知識・技能 (A 学力) の定着や、活用する力 (B 学力) に課題が見られます。

【C 学力について】
○将来の夢や目標と見通しを持ち、努力を継続できる力や、地域とのつながり (未来力) に関しては、良好な結果となりました。
△獲得した知識・技能及び思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し、行動する力を育むこと (実践力) に課題が見られます。

○ 教科に関する調査より【A・B 学力】 (全国=100) 赤字 全国を上回った数値 青字 全国を下回った数値

	長野市	長野県	全国	全国との差
①小学校全体				
国語 A	75	74	73	+2
国語 B	59	59	58	+1
算数 A	79	77	78	+1
算数 B	48	47	47	+1
②中学校全体				
国語 A	75	76	76	-1
国語 B	64	66	67	-3
数学 A	60	61	62	-2
数学 B	42	44	44	-2



しなのきプラン29の重点

- I 児童生徒の学びをつなぐ「幼保小中高」の円滑な接続を図ります。
- II 児童生徒の基本的な生活習慣の確立と家庭学習の改善を図ります。
- III 教員の授業力向上と日常の授業改善を図ります。

平成 29 年度の主な取組

1 学びの質や広がりへの保障 多様な学びの機会の充実

- ・赤ちゃんとその親が学校を訪問し、命の大切さや子育て、自分の成長について体験的に学び考える学習の実施 【プラン3】
- ・一流のアスリートを招き、夢をもちながら努力することの大切さを考える学習の実施 【プラン3】
- ・運動と遊びのプログラムの普及、教育センター委員による体力向上と学校保健の研究推進 【プラン5】
- ・情報処理推進機構 (IPA) による情報モラル講座の実施と、各校の情報モラルの充実 【プラン6】
- ・総合的な学習の時間、特別活動等における「探究的な学習」の実践 【プラン1~6】
- 「わくわくリーダーズながの」「生徒会サミット」「姉妹都市友好都市派遣」「キャリア教育支援懇談会」等の実施

2 学びをつなぐ学校種間の連携 幼保小中高連携の一層の推進

- ・幼保小の円滑な接続のために接続期 (アプローチ・スタート) カリキュラムの実践・見直し 【プラン7】
- ・「地域発 活力ある学校づくり推進事業」を 12 中学校区で推進、児童生徒・教員・学校間の交流や学力分析等への取組 【プラン8】
- ・市立長野中学校 (中高一貫教育校) における授業公開等 【プラン9】

3 学びの基盤整備 学校と家庭を支える相談支援体制の構築

- ・不登校児童生徒一人一人の個別支援計画の作成、スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの配置 【プラン11】
- ・いじめや不登校の早期発見のための「しなのき児童生徒意識アンケート」の実施 (年 2 回) 【プラン12】
- ・教育支援委員会による「就学相談」「就学」「フォローアップ」まで一貫した支援体制づくり 【プラン13】
- ・副学籍による交流及び共同学習の実施 【プラン13】

4 学びを支える家庭・地域との連携 地域とともに進める学校づくり

- ・地域に開かれた学校づくりのため、全校で長野市コミュニティスクールを推進 【プラン18】
- ・市 PTA 連合会と連携した基本的な生活習慣の確立と、家庭・地域・事業所などとの連携 【プラン19】

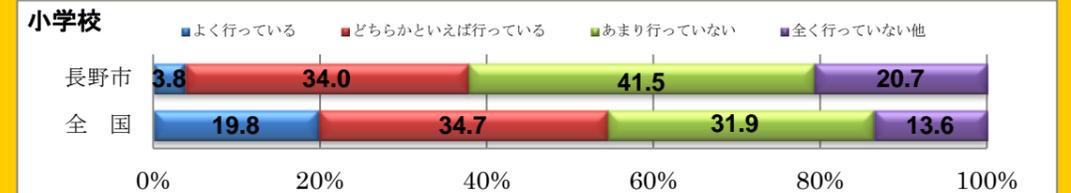
5 学びを導く教員の力量向上 学力向上と活力ある学校づくりの推進

- ・標準学力検査 (NRT) や活用問題調査の結果の活用と指導主事の訪問支援による指導改善の推進 【プラン24】
- ・次期学習指導要領への対応や教育の最新事情の把握、教職員の力量向上を目指した市教育センター研修講座の内容の充実 【プラン27】

全国学力・学習状況調査の質問紙調査から見た長野市の現状

【小中学校の学習指導に係る連携の頻度】 (学校質問紙)

「前年度までに、近隣の中学校等と、教育目標を共有する取組を行いましたか」



【主体的に取り組む学習】 (生徒質問紙)

「学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」



【総合的な学習の時間の取組】 (学校質問紙)

「前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか」

